

2020年6月1日

各位

会社名 山喜株式会社
代表者名 代表取締役社長 白崎 雅郎
(コード番号 3598 東証第2部)
問合わせ先 市場開発部部长 丸山高広
(TEL03-3633-9651)

プラスチック製の仕上げ付属品を一切使わない
「ゼロプラパッケージ」シャツ発売について

この度、当社ではプラスチック材料の仕上げ付属品を一切使わない
「ゼロプラパッケージ」のドレスシャツを2020年6月より SHIRT HOUSE 全店舗
および山喜(株)EC サイトにて販売開始いたします。

世界全体で日々大量に発生する「海洋プラスチックごみ」は長期にわたり海に残存し、
地球規模での環境汚染が懸念されています。
そのような環境の下、世界が取り組むべき SDGs にも含まれている「環境の持続性」に
対する当社の取り組みとして、シャツの仕上げ形状保形の為に使用するプラスチック製の
付属・資材の全廃に取り組んでまいります。

*山喜(株)の「ゼロプラパッケージ」はプラスチックとの賢い付き合い方を提唱する
環境省の“プラスチック・スマート”キャンペーンにも参加しています。

[ゼロプラパッケージの詳細] ※画像参照

- 1) シャツの衿を保形する①サポーター②蝶キーパーをプラスチック製から紙製に変更
- 2) アーキ(株)(東京都台東区)との共同開発による特殊な紙台紙(特許出願中)を
使用することによって、シャツ仕上げ時に通常は必要となるプラスチック製の
クリップ③④⑤⑥を使わず、仕上げ形状を綺麗に保つ事が可能となりました。
- 3) この仕様により仕上げ状態を解く際に出るプラスチックごみ(シャツ1枚につき
500ml 軽量型ペットボトル約1本分にあたる13gのプラスチックごみ)の削減が
可能です。

ゼロプラパッケージ開発コンセプト

山喜株式会社

山喜は1953年の創業以来、数多くのワイシャツを世に送り出してきました。

高級品が求められた時代から、誰でも気軽に手に入れられる価格帯へ。

扱いやすさを追求し生まれた形態安定シャツ、画一性から個性を表現するアイテムへ。

どんどん豊かになる日本で、変遷するシャツへのニーズに、時にしなやかに、時に苦悶しながら、応えてきました。

一方、世界は貧困や格差、環境問題に直面しています。

2015年9月の国連サミットで採択された、「SDGs（持続可能な開発目標）」

に各国の首脳が呼応し、日本も経済や地方創生などでその役割を果たそうとしています。

山喜は日本を代表するシャツメーカーとして、この潮流に何をもって応えるのか。

まずは、いま問題視されている、廃プラスチック問題。そこで「ワイシャツのプラスチック製付属品を2030年までに廃止する」という目標を掲げプロジェクトチームを発足させました。

そしてこの夏、当社オリジナルブランド「シャツハウス」より、プラスチック材料の仕上げ付属品を一切使用しないワイシャツがデビューします。

この仕様により、ワイシャツ1枚あたり、ペットボトル約1本分のプラスチックごみが削減できます。

山喜はこの取り組みによって環境省の「プラスチック・スマート」運動にも参画してまいります。

ほんの小さな一歩かもしれませんが、我々のこの運動が、美しい地球を守ること、日本が国際社会で存在感を示すことに繋がると信じています。

利益の追求のみならず、社会のために何ができるか。

山喜はこれからも、社会に必要とされる企業を目指します。

地球にやさしい シャツの仕上げ はじめます

ペットボトル(500ml) 約 **1** 本分のプラスチックを削減

(シャツ一枚あたり)

① サポーター

② 蝶キーパー

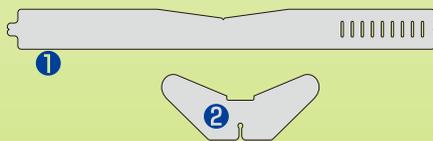
③ Lピン

④ Lピン

⑤ クリップ

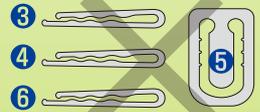
⑥ Lピン

~~プラスチック~~



紙製へ変更

~~プラスチック~~



資材をなくします



Plastics
Smart

プラスチック・スマート
キャンペーン

世界全体で日々大量に発生する「海洋プラスチックごみ」は長期にわたり海に残存、地球規模での環境汚染が懸念されています。

こうした課題に取り組む環境省の「プラスチック・スマート」キャンペーンの一環として、山喜株式会社はプラスチック資材の削減・廃止に取り組めます。